

# 左京はあとふるプラン

## ニュースレター第14号



平成27年7月発行／京都市左京区役所地域力推進室

左京区役所では、平成23年度からの10年間のまちづくりの指針である「左京はあとふるプラン」(左京区基本計画第2期)が目指す「自然を愛で、歴史を学び、文化を楽しむ」まちづくりを進めています。

このニュースレターでは、「左京はあとふるプラン」の推進に関する情報をお伝えしていきます。

### 左京はあとふるプランワークショップを開催！

今年度は「左京はあとふるプラン」が中間年である5年目を迎えるため、改めて多くの区民の皆様の声をお伺いし、今後の取組に活かしていくために、地域団体の方や区民の皆様へのアンケート、まちづくり活動をされている方へご意見を聞くワークショップ等を行うこととしています。

今回は、左京区内でまちづくり活動を行う方々に、活動をする中で課題と感じていることなどについて話し合ってもらったワークショップを開催しました。

開催日時：平成27年6月29日(月) 19:30~21:00

場所：左京区役所1階大会議室A・B

参加者：30名



#### 当日のプログラム

1

##### グループ分け、開会、趣旨説明

グループ分けは、参加者の活動分野や「左京はあとふるプラン」の3つの目標に照らし、あらかじめ区役所で7つのテーマを設けました。参加者には、7つのテーマから自身の活動に近いものを選んでいただき、テーマごとにグループに分かれました(実際には7テーマ中6テーマについてグループができました)。

グループ分け、開会に続き、本日出た意見を踏まえて今後の取組を検討し「左京はあとふるプラン」の更なる進捗を図るという趣旨を説明しました。

2

##### 自己紹介

グループ内で、「名前」「活動概要」「活動をしていてうれしかったこと」について自己紹介しました。

3

##### グループワーク(2ラウンド)

ラウンド1では「活動していて課題と感ずること」、ラウンド2では「課題を解決するアイデアやヒントを考えてみよう」をお題に、グループ内で話し合いました。

4

##### 決意表明、閉会

今日のワークショップを通して、今後、自分や自分の団体が「実行しよう」と感じたこと(決意表明)を、短冊に記入のうえ笹に結び、「星に誓い」を立てました。



## グループワークで出た意見（抜粋）

テーマ	第1ラウンド「活動していて課題と感ることについて話し合おう」で出た意見	第2ラウンド「課題を解決するアイデアやヒントを考えてみよう」で出た意見
自然・環境・里山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を守る、里山を残すといっても、税や規制の縛りが多く、農業だけでは生活できない。収益も含めた支援を国全体として実施するべき。</li> <li>・地域のためと思って活動しているが、地域に受け入れてもらえるわけではない（活動場所が借りられないなど）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に受け入れられるには、地域団体の役員になったり、自分から催しに参加したりするとういと思う。</li> <li>・まちづくりをしている団体や個人と地元を行政が繋ぐ仕組みが必要。例えばワンストップ窓口や左京人材バンクなど。</li> </ul>
文化・伝統行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手の育成が必要。</li> <li>・担い手が高齢化してきている。技術や言葉の伝承が必要。</li> <li>・資材の確保やメンテナンス、活動場所の確保が必要。</li> <li>・活動を、地域に広げるのか、学生に広げるのかという広げ方の検討が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まずはにぎやかなお祭で知ってもらおう。</li> <li>・中学校、高校と連携する。</li> <li>・記録をしっかりと残す（ビデオ記録）。</li> <li>・上手にPRする（気軽に話せる機会を設ける）。</li> <li>・体験してもらおう機会づくり。</li> </ul>
福祉・健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集まって活動する場所の確保が困難。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健センターとコラボし、活動を市民に身近なものにしていく。</li> </ul>
地域コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動メンバーが定着しない。</li> <li>・活動の継続が難しい。</li> <li>・活動にかかる経費の調達が難しい。</li> <li>・地域のコミュニティスペースとなる常設の場所がない。地域住民同士の日頃の接触がない。</li> <li>・北部山間地域では過疎が進んでいる（子どもがいない、仕事がない）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンバーが共感できるレベルを探す。</li> <li>・メンバーが楽しんでできる活動を作る。</li> <li>・商店街の空き店舗やスーパーの2階など、買い物ついでに立ち寄れる場所の活用。</li> <li>・小学校や児童館、市民活動センター等、既存の公共施設を活用する。</li> <li>・まず北部山間地域に来てもらう。</li> </ul>
食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理想と現実の境界がある。</li> <li>・グループ内での意識が違う。</li> <li>・農地や古民家などの場所の確保が難しい。</li> <li>・自分の活動が、他団体や地域とのつながりをもてない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「手伝う」ではなく「自分のこと」という意識をグループ内メンバーで共有する。</li> <li>・自分達だけが楽しく活動できればよいのか、広げたいと思うのかをはっきりさせる。</li> <li>・地域の人が参加できるイベントを開く。</li> </ul>
多様な人の交流・共生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住者（ヨソ者）と地域の人が交流するのは難しい。</li> <li>・つながりたい人、一人でいたい人など色々な人。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住んでいる人が「心地いい空間を作りたい」という想いを共有する。</li> <li>・魅力的な場・人や、いつでもある・やっつけること（継続性）、場を閉じないこと、相手を理解しようとする必要がある。</li> <li>・地域の人とヨソ者を繋ぐキーマンが必要。</li> <li>・つながることが大事。</li> </ul>

### 参加者の方へのアンケート結果

<多くの方から、「大変満足」「満足」との声をいただきました>

- ・同じような悩みがあり、よく分かった。
- ・色々な団体の方の話聞いて楽しかった。
- ・地域で活躍する方と接点を持てた。
- ・私達の活動を側面から見てもらえた。

○それとは別に、時間が足りずに、話題を深めることが出来なかったとの声もいただきました。

<多くの方が、「今後の活動に役立つものを見つけた」と回答してくださいました>

- ・新たな活動についてもっと考えてみよう、もっと行動してみようという思いができた。
- ・新しい視点や取り組み方があることがわかった。
- ・区内で様々な取組があることを知った。
- ・大学や他の活動との交流ができるかもしれない。
- ・アクションを起こすきっかけに繋がった。
- ・地域コミュニティのつながりづくりが出来た。
- ・地区の大切さ、まとまりの強さを改めて実感した。

### 短冊に書いた決意表明

人と人とのつながりをこれからも大切にします

地域の人たちに和太鼓のよさを知ってもらおう

オープンしている

アルコールで悩んでいる方のセミナーを成功させる。左京保健センターとコラボしたい

つながりたくなっている人をつなげる

色々な場所に行き、色々な体験、色々な勉強をする

「左京人材バンク」をつくる

今日出会った人のイベントに行く

今年は中学生に参加してもらおう

こちよいい空間をつくる



皆さまからいただいたご意見をヒントに、今後の取組を検討していきます。一緒に左京区のまちをよりよくしていきましょう！